

第11回ロボット大賞



会 期：2024年9月18日（水）～20日（金）
 会 場：東京ビッグサイト
 共 催：経済産業省（幹事）／（一社）日本機械工業連合会（幹事）総務省／
 文部科学省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省
 対 象：ビジネス関係者、一般
 公式サイト URL：https://www.robotaward.jp/

受賞者数：15 案件

■開催内容

情報技術、エレクトロニクス、機械工学、素材技術など我が国産業の強みと言える幅広い要素技術を統合することによって生み出される次世代のロボット技術（RT）は、我が国に科学技術の更なる発展をもたらすとともに、ものづくり分野はもとより、サービス分野、ICT利活用分野、介護・医療・健康分野、社会インフラ・災害対応・消防分野、農林水産業・食品産業分野などの幅広い分野における利活用が進むことにより、生産性の飛躍的向上、単純な繰り返し作業や過重な労働等からの解放、急速な少子高齢化が引き起こす労働力不足の解消や、安全・安心な社会の実現に貢献すると期待される。

このため、将来の市場創出への貢献度や期待度が高いと考えられるロボット及びロボットに関連するビジネス・社会実装、ロボット応用システム、要素技術、高度ICT基盤技術、研究開発、人材育成（以下、「ロボット等」という。）を表彰することにより、ロボット技術の開発と事業化を促進し、技術革新と用途拡大を加速する、社会に役立つロボットに対する国民の認知度を高め、ロボットの需要を喚起するとともに、全国から広く募ることで我が国のロボット技術の動向を把握することを目的としている。

◆第11回ロボット大賞

本年度のロボット大賞は、全85件の応募の中から15案件が表彰された。2024年9月18日（水）に東京ビッグサイトにて表彰式と受賞者による合同展示（～20日（金）まで）を実施し、多くの来場者に受賞ロボットを認知してもらうことができた。

■2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

スタートアップ企業をより評価するため、実績だけではなく、「これからどのようなイノベーションやブレイクスルーをもたらすことができるか」の記載項目を応募用紙に追加した。結果、スタートアップ企業の応募が増加した。

